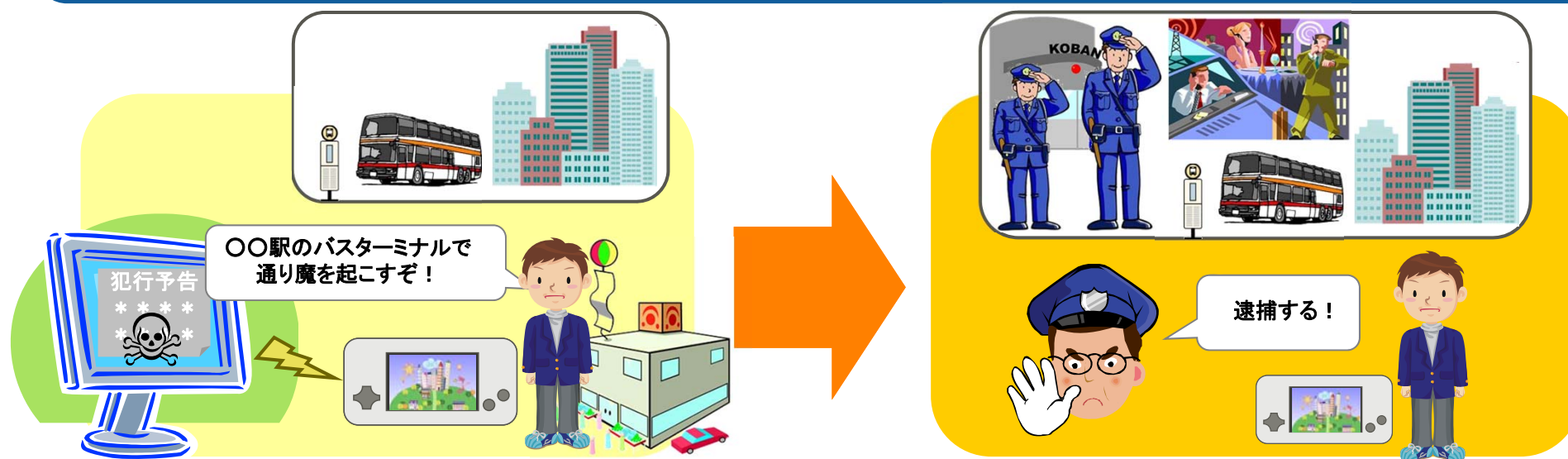


7-1 地域社会に不安を与える犯行予告

犯 行 予 告 等

深
犯

インターネット上に犯行を予告する書き込みは、たとえいたずらであっても、地域の人々や学校、会社の業務などに大きな混乱を与えます。



インターネットの掲示板に、ある地域で通り魔殺人を起こすという書き込みが、日時指定でありました。

この書き込みは、インターネットの掲示板やミニブログで大きな話題となりました。

これに対して、80名もの警察官が犯行予告地域に動員されるなど、その地域は混乱しましたが、実際は何も起こりませんでした。

その後、この書き込みから書き込んだ日時や場所が特定され、犯人は逮捕されました。

(7-1) 事例の解説と気をつけること

犯 行 予 告 等

犯行予告により多くの人が迷惑をこうむった事例

【 解 説 】

犯行を予告するような書き込みがされると、予告された場所を隅々まで調べたり、警戒要員を増やしたり、通行人を避難させたり、多くの人々に混乱を与えます。**犯行予告の書き込み行為は、業務妨害や脅迫などの罪になることがあります。**

このような書き込みについては、いつ、どこからインターネットに接続したかを調べて、書き込みをした人を特定することが可能です。（この事例では、店舗の公衆無線LANから接続していました。）

平成20年6月の秋葉原無差別殺傷事件の後には、子どもたちによる犯行予告が急増しました。たとえ、ふざけたり、まねをした結果であっても、犯行予告は多くの人に迷惑をかけることになります。

気 を つ け る こ と

1. 犯行を予告する書き込みは犯罪にあたる：
 - ・軽い気持ちやいたずら心であっても、犯行を予告する書き込みをすると、多くの人に迷惑をかけます。
 - ・実際にするつもりがなく、他の人のまねをただけでも、罪に問われることがあります。
2. インターネットの特性を理解する：
 - ・インターネット上で発信した情報は、多くの人にすぐに広まり、一度公開された情報は完全には消すことができません。
 - ・インターネット上の書き込みは、調べれば書き込んだ人を特定することができます。
3. 犯行予告を見つけたら周りの大人に連絡する：
 - ・自分の身近な地域で、犯行を予告する書き込みを見つけた場合は、すぐに保護者や教師など周りの大人に連絡しましょう。
4. 子どもが相談しやすい環境をつくる：
 - ・書き込みをする子どもも大きなストレスを抱えていることがあります。保護者や教師は、日頃から子どもが身近な大人に相談しやすい環境をつくりましょう。

7-2 掲示板での特定の個人に対する嫌がらせ

犯 行 予 告 等

深

犯

「嫌がらせをしよう」などの呼びかけを掲示板に書き込むことは、実際にはするつもりがなくても、相手を傷つけたり、多くの人に迷惑をかけたりします。



中学2年生（男子）のAくんは、いたずら心からインターネットの掲示板に「暴りたい人は〇〇駅に〇日〇時に集合！ 〇〇（名前）を殴っちゃおう」と書き込みました。

それについて、何件か盛り上げようとする書き込みがされましたが、実際には実行しませんでした。

しかし、その掲示板を見た先生が警察に通報し、警察が犯行防止のために周辺を1日中パトロールしたり、学校でも全校集会で議題に取り上げられたりと、大きな問題に発展してしまいました。

Aくんは、軽い気持ちで書き込んでしまったことをとても後悔しました。

(7-2) 事例の解説と気をつけること

犯 行 予 告 等

掲示板へのいたずらの書き込みにより多くの人が迷惑をこうむった事例

【 解 説 】

実際にするつもりではなくても、安易に掲示板などに人に危害を加えるといった書き込みをすることは、犯罪となることがあります。

このような書き込みについては、いつ、どこからインターネットに接続したかを調べて、書き込みをした人を特定することが可能です。

また、軽い気持ちやいたずら心で書き込んだことでも、相手を深く傷つけることがあることを理解しましょう。

気 を つ け る こ と

1. 特定の人に危害を加えるような書き込みは犯罪にあたる：
 - ・軽い気持ちやいたずら心であっても、人に危害を加えるといった書き込みは、相手を深く傷つけます。
 - ・実際にするつもりがなく、書き込みをするだけでも、罪に問われることがあります。
2. インターネットの特性を理解する：
 - ・インターネット上で発信した情報は、多くの人にすぐに広まり、一度公開された情報は完全には消すことができません。
 - ・インターネット上の書き込みは、調べれば書き込んだ人を特定することができます。
3. 犯行予告を見つけたら周りの大人に連絡する：
 - ・インターネット上で、人に危害を加えるといった書き込みを見つけた場合は、すぐに保護者や教師など周りの大人に連絡しましょう。
4. 子どもが相談しやすい環境をつくる：
 - ・書き込みをする子どもも人間関係の不安などを抱えていることがあります。保護者や教師は、日頃からコミュニケーションを密にして、子どもの心の変化を早く察知するように努めましょう。